

市第67号議案 平成23年度横浜市一般会計補正予算(第5号)(港湾局関係部分)

【横浜港放射線測定装置整備事業(ふ頭整備の増額)】

横浜港の安全性・信頼性周知の必要性から、輸出コンテナの放射線量を測定するため、据置型の放射線測定装置を整備します。

1 事業目的

原発事故の後に、海外の船会社を中心に横浜港を利用する船舶及び輸出コンテナ貨物に対しての放射線汚染の懸念が高まり、貨物の受入拒否や横浜港への入港を避ける事例が見られました。このため、輸出コンテナの放射線量の測定を人手により実施し、証明書を発行するなど、横浜港を安全・安心な港として、周知に努めてまいりました。

そのような中で、さらなる安全・安心が発信できるよう、コンテナの全量測定検査を実施するため、据置型の測定装置を整備し、効率的な測定体制を確立するものです。

2 放射線測定装置整備の概要

装置整備数	21基
整備費用	408.5百万円
内訳	国：204.25百万円 市：204.25百万円



放射線測定装置のイメージ

放射線測定装置の整備箇所

